

『気道熱傷の診断と治療、予後に関する 全国実態調査』について

➤ 研究（調査）の目的と概略

火災や爆発などによる事故の際、高温の煙や水蒸気を吸入することで気道に障害を受ける疾患を気道熱傷と言いますが、これに全国一律に決まった治療法はありません。しかし、場合によっては呼吸困難や窒息、嚥下障害などの大きな問題を引き起こす疾患のため、全国的に気道熱傷に対してどのような治療が行われ、治療後の経過がどのようなものであるかを調べるのが目的です。

➤ 研究（調査）の方法

本邦における各施設の2011年4月1日～2021年3月31日における気道熱傷の患者様について、受傷機転や診断の方法、行った治療法や治療後の経過について各施設にアンケート方式で実態調査を行い、中央集計した後に解析を行います。

➤ 研究（調査）の参加施設

全国の日本気管食道科学会認定専門医研修施設

➤ 調査期間

承認日～2025年3月31日

➤ 調査の対象となる患者さんへ

2011年4月1日～2021年3月31日に上記参加施設において、気道熱傷の診断を受け治療が行われた患者様の診療録の記録を用いた研究を行います。皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

➤ この調査への協力は任意です。

本研究で患者様に新たに検査などを行うことは一切ございません。本研究は倫理審査委員会の承認を得ておりますが、研究内容の説明の上でご協力をお願いしております。少しでも不安があればご承諾頂かなくとも問題はありません。また断ったことで不利益を被ることもありません。不明な点がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

➤ お問い合わせ先

この研究は、日本気管食道科学会臨床研究委員会が研究事務局を担当しています。
研究責任者：山下 拓 （施設名）北里大学 耳鼻咽喉科

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本気管食道科学会 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-11 陽臨堂ビル2F
E-mail : jbes@kishoku.jp